

令和2年度重点取組事項（学校教育の基本方針より）

1 学校園の組織力アップ（子どもにとって最大の教育環境は教師）

○カリキュラム・マネジメントの充実

- (ア)教育活動の質の向上に向けて教育課程を編成し、PDCA サイクルでの運用

○信頼される教職員

- (ア)不祥事の防止

- ・体罰、セクハラ、飲酒運転、公金取り扱い、情報管理（紙媒体・電子媒体）

- (イ)教育公務員（専門職）としてのスタイル

- ・服装、言葉遣い、接遇態度

- (ウ)指導力向上のための研鑽

○教職員間の連携と協力

- (ア)子どもの多面的な理解につながる連携と協力

- ・いつでも、どこでも情報交換ができる関係づくり

- (イ)組織としての連携と協力

- ・チームで対応、複数で指導

- (ウ)教職員同士が高め合う連携と協力

- ・若い教員を育てる環境づくり

○働きがいのある職場づくり

- (ア)気軽に相談できる園・校内体制の構築

- (イ)業務改善の推進による勤務時間の適正化

- ・割り振り簿の活用

- ・残業の軽減

- ・仕事内容の見直し

○組織的な生徒指導体制の構築（いじめの未然防止）

- (ア)全教職員によるチームとしての指導体制の構築

- (イ)SSW 等の活用

○地域の教育力の活用

- (ア)地域住民によるボランティア活動の受け入れ等

- (イ)幼児、児童、生徒との交流の促進

2 教師の授業力のアップ

○実践的指導力の向上

- (ア)「学力の3要素」を高められるような授業づくり

- (イ)単元や一時間の中でつけさせたい力の具体化

- (ウ)評価による授業の振り返り

○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

- (ア)思考の活性化をめざした発問・指示の工夫（高砂市のリーフレットを参考）

- (イ)児童生徒のつまずきの解消（「ひょうごのつまずきポイント指導事例集」の活用）

- (ウ)児童生徒の実態や学習内容を踏まえ、主体的・対話的で深い学びができる学習形態を計画的に実施する（個別学習、ペア学習、グループ学習等）

○心の通い合う学級経営

(ア) 共感的理解 ・相手の立場になって聞く、背景を捉える

(イ) 肯定的な評価 ・ほめる、認めること

(ウ) 公平な接し方

(エ) こまめな言葉かけ、連絡（情報発信）

(オ) 毅然とした指導、対応

(カ) 保護者との信頼関係の構築

（体罰によらない指導、入念な事実確認、何がいけないのかをはっきりさせる、反省させるまで返さない、言い分をしっかりと聞く、加害であっても情状酌量の余地を残す、話を聞ききったら児童生徒を信じる、納得できていないことはないか確認し納得させる、その日のうちに解決する等）

○理科教育、情報教育、外国語教育の充実